



みなみ風たより

ご挨拶

・外科

近藤 千博 (かずひろ) 医師

診察日： 木曜 午前 (初診) 火曜 午前 (内視鏡)
午後 手術



1983年に宮崎医科大学を卒業、当時八尋理事長が医局長としておられた第一外科に入局し、以降大学病院を中心に宮崎県、鹿児島市の病院で外科医として研鑽を積みました。2015年から宮崎市立田野病院で地域医療にも携わり、2023年3月に定年退職となっております。

今回縁あり2024年4月から南部病院で非常勤医師としてお世話になることとなりました。年はとりましたが、まだ十分働けると思いますので、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひいたします。

・ 麻酔科

岩切 さと子 医師



私の苗字、“岩切”からわかる通り宮崎生まれ宮崎育ちです。専門は麻酔科です。

皆様に元気になっていただけるよう、宮崎の日差しにも負けない明るさを目標に診療にあたりたいと思っています。

令和6年4月1日より、2人の非常勤医師をお迎えしました。診療時間等は、随時ホームページ等でご報告いたします。午後の外科診療や手術など今後、診療内容を充実させてまいります。

病院機能を向上させ、地域医療に貢献できるよう日々努力いたします。

南部病院のホームページのQRコードです。

診療案内などの確認にご利用下さい。 <https://nanbuhp.or.jp/>



◎POTT（ポット）プログラム研修会開催

令和6年3月2日 清武町文化会館 研修室にて、南部病院地域連携室主催 POTT（ポット）【ポジショニング（P0）で、食べる（T）喜びを、伝える（T）の愛称】プログラムの研修会を行いました。

講師には、日本赤十字広島看護大学名誉教授 迫田綾子先生、演習ファシリテーターにメッセンジャーナースかごしま代表 田畠千穂子先生をお招きいたしました。

この発端は、昨年の看護技術学会にて当院の統括師長が迫田先生の講演を聞き、非常に感銘を受けた事でした。POTTプログラムの開催場所を見てみると、まだ宮崎では行われていなかったそうです。これはぜひ宮崎でと迫田先生にお話したところ、快諾いただき今回の講演会が実現いたしました。

地域連携室から周辺施設へ参加案内をしたところ、看護師、介護福祉士をはじめ様々な職種の方、30名にお申し込み頂き、当院関係者も含めて50名の参加者にて開催しました。

当院山成院長より開会の挨拶の後、野村言語聴覚士が南部病院における嚥下評価と摂食・嚥下療法について発表を行いました。

迫田先生から、約1時間講演いただいた後は、実際に車椅子を使ったポジショニング実習を行いました。迫田先生は、今回参加された皆様が技術を習得し実践するのみでなく、さらに他の方に伝承してほしいと話されていました。

正しいポジショニングを行うことで、食事が容易に通過し、食事に対する意欲が出てくるというお話は、大変興味深く、食事介助が必要だった方が、ご自身で食べることができるようになるという事例を報告されました。介助されて食べる場合も目で見て、食物を認識し、使えない手であっても適切な位置に置くことで、咀嚼に集中する事ができるとの解説がありました。

例えば、刻み食は、目で見た時に食物として認知ができないので、嚥下障害には適さないというお話など介助される視点でのお話は、大変勉強になりました。



講師 迫田綾子先生



山成院長



野村言語聴覚士



実習では、5名程度のグループに分かれ患者さんと介助者を交代しながらポジショニングを行なっていきました。時間が限られた中で迫田先生と田畠先生が、各グループを回りながら、車椅子での食事体勢をとるコツ、補正方法、介助のコツなど、明日からの業務に役立つポイントを教えていただきました。交互に行う事で、介助される側の気持ちも理解でき、ポジショニングの根拠も理解しやすかったのではないかでしょうか。

使用したものは、バスタオル、段ボール、発泡スチロールなど日常手に入りやすい物ばかりです。迫田先生が広島のメーカーと開発した補助具も持参されていましたが、バスタオルの折り方を工夫して代用する方法も説明され、できるだけ負担がかからないようにとの気持ちが伝わってきました。

次に円背の方や、麻痺などにより体が傾く方のポジショニングについて実習を行い、フェイスタオルを使用した体位補正方法を指導頂きました。

実技終了後は、各グループから質問や気づいた事の発表の時間を設けて頂きました。

最後に、参加者全員で記念写真を撮影いたしました。迫田先生の提案で、両手を下顎に添えるPOTTのポーズで、“ポ”と発声して、シャッターを切りました。

13時30分から17時までの3時間以上の研修会でしたが、内容が充実していたせいか時間の流れが早く感じました。参加された皆様大変お疲れ様でした。また、終了後には、参加者皆様からアンケートにご回答頂きました。

迫田先生、田畠先生始め、参加者の皆様、実技で使用した食品を協賛頂いたメーカー各社様、心より感謝いたします。今後も地域の皆様とよりよい医療と介護を実現できるよう、研鑽していきたいと思います。（文責 石川）



田畠先生による実習指導



タオルによる体位補正



体が傾く方への介助



参加者全員記念撮影

○病院改築工事について

本年1月より、増改築工事が始まりました。リハビリ室拡張、既存のエレベーターを撤去と、新たなエレベーターの設置、医師増員に伴う管理棟整備など、病院機能拡張のために約1年をかけて整備してまいります。騒音や振動など患者様には長期にわたり、大変ご迷惑をおかけいたします。事故の無いよう安全に工事をすすめたいと思います。

拡張工事に伴い、既存の建物の一部が使用できなくなり、当面の間7床が休床となっています。そのため、入院の受け入れ等に影響が出る場合もあります事も、重ねてお詫び申し上げます。



○杉尾看護師によるPICC
(腕から挿入する中心静脈カテーテル)挿入



○八尋 克三 理事長による地鎮の儀

○看護師特定行為研修修了

令和5年4月から1年間、特定行為研修を受講していた看護部主任看護師 杉尾晴香が本年3月、外科系領域の研修を修了いたしました。

看護師特定行為とは、予め作成された指示書に則り、研修を受けた看護師のみができる行為になります。これまで、医師のみが実施できていた行為などが可能になり、タイムリーに専門的な医療を提供する事ができます。今回、外科系の研修を受講し、入院中の高力口リ一点滴の必要な方のPICC挿入も実施いたしました。



○受付時間変更のお知らせ

令和6年1月より受付時間の変更をいたしました。

午前：8時15分受付 8時30分診療開始～ 11時30分受付終了 (12時診療終了)
午後：13時30分受付 14時 診療開始～ 17時30分受付終了 (18時診療終了)

【発行】

医療法人社団 誠友会 南部病院
〒880-0916 宮崎県宮崎市大字恒久891-14

【代表電話】0985-54-5353 (FAX)0985-54-5160

【ナビダイヤル】0570-08-5353 【受付時間】平日 8時～18時

※ 代表電話混雑緩和のため、令和5年9月にナビダイヤルを導入いたしました。
ガイダンスに従って番号をお選び下さい。